

# わが園の紹介

五つ子の魂

百までも

養父市立八鹿幼稚園

園長 小橋宣之

「よいにわ よいはな よいかおり」で始まる八鹿幼稚園園歌、今改めて、児童はよい環境の中で育てられるという児童憲章を思い起こします。人間は環境の動物とも言われますが、よい環境を作っていくことが私たち大人に課せられた子育ての第一歩でもあります。

## 子どもと

いっしょに

一学期を終え、いよいよ夏休みを迎えます。

夏休み中にご家庭でぜひ取り組んでいただきたいことがあります。その一つに、子どもが勉強したり、一人でくつろいだりする部屋（子ども部屋）の整理や掃除です。

今の子どもたちには、昔以上に整理する能力が必要です。物にあふれた中で生活しているためです。中には、物の整理ができず、床に所せましと積み上げている子どももいることでしょうか。部屋をきれいに

ります。

八鹿幼稚園の園児は五十五名、年少子化の影響を受け、園児数が減少していますが、今年度は昨年より少し多くなつて、職員一同喜んでいるところです。

さて、今年度の八鹿幼稚園の教育目標は「一人ひとりの良さを生かし やさしく たくましく 生きる力を育てる」として、明るく元気な子、自分のことは自分でできる子、思いやりのある子、ねばり強くがんばる子をめざしています。保護者の方々も、私たち職員も今、今を大切にすると



ともに、子どもたちの将来をしっかりと見つめた支援をしていくことの大切さを確認し、その実施に向けて力一杯努力していこうと、心新たに子育てを楽しみ挑戦している毎日です。

にしたけれど、どうすることもできないのが現状です。

私たち大人も台所の整頓や衣服の整理などに悩んでいるのですから、なおさらです。

かたづけ方として、たとえば①学校に必要な教科書や参考書などを本棚に整頓する。

②いらぬ物、使わない物は思い切つてすてる。③いる物でこの夏休み中に使わない物はとりあえず段ボールに詰め、倉庫等へ持って行き、部屋から出す。というふうにしてみてはどうでしょうか。

どんな物にも思い出がいっぱいで、子ども一人ではなかなかかたづけられないこと

しよう。ぜひ、親子で相談しながら一緒にかたづけてみてはどうでしょうか。

二つ目に、家の手伝いをさせるということ。毎年夏休みに家の手伝いをすると決めているのに三日坊主になつていないでしょうか。

家の手伝いは、あくまでも手伝いで、仕事分担ではありません。ですから、仕事をしながら子どもといろんな話をしようと思うぐらいがちょうどいいのです。

そのうち子どもが一人でできるようになれば、大いにほめてやることです。

(学校教育課)

## まちの文化財2

### 古生沼の湿原植物

水ノ山は兵庫県では最も高い山で、標高は千五百十メートルあります。山頂は鳥取県若桜町と養父市の境界です。この水ノ山の山頂から東側に二百メートル下った標高千四百六十メートル付近に、古生沼があります。幅三十メートル、長さ六十メートルほどの湿原です。表面にはミズゴケ類やツマドリソウ、ヤチスゲなどの北方系植物が生き残っています。

六月十三日、南但馬の自然を考える会（代表前田常雄氏）など二十四名が、保全作業のために水ノ山に登りました。ここには、「古生沼の高地湿原植物群落」と呼ばれている兵庫県指定文化財の天然記念物があるからです。

前田さんは、「古生沼にはヤチスゲ、エゾリンドウ、ツマトリソウ、アカモノなどの水河期の植物が生き残っています。樺太や日本アルプスに行かないと見ることができないものです。水河期の植物が奇跡的に生き残っている古生沼は、湿



性植物の宝庫です」と解説しました。しかし水ノ山の山頂東斜面は、多くの登山者によってトイレ場になっています。人が排泄した栄養が古生沼に注いで、環境が富栄養に変化したことで、水河期の植物が消滅しかけています。保全作業は、山頂の東斜面にロープを張って、この付近でトイレをしないように登山者の協力を求める看板を立てました。

(社会教育課)